



# アクトレス

NO. 51

名古屋市演劇練習館機関紙

## エッセイ

### 500万本の芝居。

西田シャトナー（西田シャトナー演劇研究所代表、作家、演出家、俳優）



西田シャトナー演劇研究所公演  
「宇宙猿」  
'06年7月27日(木)～30日(日)  
七ツ寺共同スタジオにて

10年と少し前、まだ大阪に住んでいた頃。芝居を始めてから5年目の冬。

愚かな僕は得意満面だった。演劇の才能に乏しい僕が、なんの加減か、大阪・東京のインディーズ演劇の世界で、ちょっと話題になるくらいの数の観客を集め始めていたのだ。

その日も、劇場から溢れるほどの大入りの公演を終えた僕は、打ち上げの飲み会で明け方まで騒ぎ、いい気分で帰宅し、ベッドに横になった。臉を閉じ、満員の観客の笑い声と拍手を思い浮かべた。価値ある芝居を作った誇らしさを感じながら、眠りに落ちた。

その時、阪神淡路大震災が起きたのだった。

いつも僕らが稽古をしたり公演を打ったりしている隣街の神戸を、地震が瞬時に破壊してしまった。黒煙を上げる隣街を、僕はテレビで見た。建物が崩れ、高架道路が落ち、人々がその下敷きになっていた。神戸に住む友人たちや劇団員たちとは、連絡が取れなくなってしまっていた。

なんとかしなければ。隣街の人々を助けなければ。だが、どうやって？わからない。わからないけれど、少なくとも僕の演劇は、今この災害を前になんの役にも立たない、それだけは、はっきりしていた。建築家や、消防士や、医師や……いろんな人が次々に神戸に集まり、人々の命を助けていた。だが、僕の演劇に今、価値はまったくなかった。僕は、演劇

とは全く無関係なひとりの青年として、せめて全壊した友人の家の片付けを手伝うしかなかった。

僕はそれ以来、いつでも考えている。自分の演劇が、誰かを救うとすれば、どのようにして救うのかを。

答えは、出ていない。出ていないながら、せめてと願っていることがある。

僕の芝居は、今、目の前で起こる災害や戦争を止めることはできない。できるのは、ほんの少しずつ、人々の心を動かすことだけだ。その小さな心の変化のチリが、いつか積もって山のような大きな変化へと成長してくれないだろうか。未来に起きるかも知れない戦争をくい止めるほどに大きく積もってくれないだろうか。未来に起きるかも知れない災害時に、もっと人々が助け合えるほどに積もってくれないだろうか。

いくら願っても、僕の芝居だけでは、戦争や災害を止めるのは無理かもしれない。けれど、僕はさらに夢想する。僕と同じ想いの表現者たちが、きっと世界中にたくさんいることを。たとえば世界中の500万本の芝居や音楽が、400年未来の戦争をひとつ止めることができるなら。未来の災害から街が立ち直る力を強めることができるなら。僕はその500万本の芝居のうちの一冊を作ろう。

10年前と変わらず、演劇の才能に乏しい僕だけど、今、僕はそう願いながら、今日も稽古場へ向かっている。そこだけは、10年前とは変わった。

## トピックス

### 市街劇「箱男と箱女」に参加して

獅子見琵琶（双身機関）



双身機関第九回公演  
「箱男と箱女」  
'05年10月8日、9日、10日、15日、16日  
西区円頓寺商店街一帯にて

皆様こんにちは、獅子見琵琶です。演劇を始めて二十数年……。演劇の可能性、社会的必要性、芸術の意味、そもそも何故演劇を続けているのか？生きるって何？等々、自問自答、暗中模索、七転八倒を繰り返しつつ様々な作品に関わってきましたが、未だはっきりとした答えは見つかっておりません。

昨年秋、我が双身機関は円頓寺商店街とその周辺で市街劇「箱男と箱女」を上演しました。人々が生き関わりあい日々の日常が淡々と流れる「生きる場所」円頓寺。そこでの上演は日常とは隔絶された劇場での公演とは異なり「演劇の意味」を、社会と創り手側双方にダイレクトに問う事になったと思います。

円頓寺の日常に観客と共に割って入った私達、箱をかぶり他人との関わりを拒絶し他人を覗き見る事を自分の存在価値とする箱男(女)観せる立場の演劇人が演じる。演じる者と観る者とそれらを見る地域住民と、またそれを覗き見る箱男と観客とが造り出す合わせ鏡。空間と存在すべてがメッ

セージの発信源となる。そんな現象を創り出しました。円頓寺の日常に異変をきたした私達に寺守の老婆は茶菓子とお茶を差し出し、喫茶店の親父は私達を店に呼び入れ激励し昔話をはじめた。自転車の通行人は演者の傍を普通に通りすぎ、それを見た観客は役者の誰よりも存在感があったと言った。「もう来なくなるの、寂しくなるねえ」地域住民から声かけられた。私達は演じる事で日常に入り込んだのである。また噂を聞き付け写真家が集まり後日「箱男と箱女写真展」へと発展し新たな創造へとつながった。もしかしたらこれが答えの一つかもしれない……。

この秋、管理社会における人間関係を描いた「カッコー'Sネスト」に出演する。どんな問題提起をし、どのような「答え」が導き出されるか？またもや模索の日々に突入するわけですが、新たな「答え」が見つかる事を願いつつ台本を開いております。演劇とは何かを知るために、私が私であるために。

# アクテノン・シャワー

## ■ 「アクテノン・フェスティバル」のご案内

日頃、アクテノンを利用している皆さんと地元の芸術団体の皆様が(13団体)、野外劇場で演劇・音楽・舞踊などの公演を繰り広げます。今年は学校法人同朋学園にもご協力をいただき、新たな「アクテノン・フェスティバル」を開催いたします。ぜひ皆様お誘い合せのうえ、ご来場ください。

日時：平成18年10月7日(土)・8日(日) (開演は各日とも13:00です)  
会場：アクテノン野外劇場(雨天中止)  
入場料：無料  
運営：アクテノン・フェスティバルプロジェクトチーム  
主催：財団法人名古屋市文化振興事業団  
中村アクターズタウン実行委員会  
協賛：NAGOYAまちじゅうGA芸術祭  
※出演者・内容等につきましては演劇練習館までお問い合わせください。

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

## ■ 発声のワークショップを開催します。

毎年、定員を超えてお申し込みをいただく「演ずる人のための発声講座」を、今年も開催いたします。なかなか学ぶ機会が少ない「発声方法」について、ぜひこの講座で体験してみてください。

開催日：平成18年11月3日(金・祝)～4日(土)  
(2日間連続の講座です。)  
会場：アクテノン 5階 リハーサル室  
講師：金 末順 (ボイスワークショップすにい代表)  
受講料：2,000円 (保険料を含む。)

## アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

### 演劇 The Cony Hangar



色々なジャンルのアーティストさん方とコラボレーションしながら今まで公演を続けてきました。これからもそのスタイルを変えずに、楽しくやっていきたいと思っています。次回の公演は11月25日・26日です。アート系のクリエイターとのコラボにワクワクしています。いつものシンガーに加え、おなじみになりつつあるドラッグクイーンも巻き込みながらの次回公演！みなさんぜひ観に来て下さい。場所は、大須のセツ寺共同スタジオです。

①2001年 ②5名  
③気晴らしが済んだら/今池芸音劇場('04) パンドラのおもちゃ箱/今池芸音劇場('05) 骨の髄まで愛してる。/セツ寺スタジオ('06)  
④Kozoo(コズー)  
☎(090)3968-7008

アクテノンに一言 夜8時にも集まらない社会人劇団にとって、12時まで使わせてもらえるのはとっても助かっています。スタッフのみなさま、夜遅くまでご苦労様です。これからも、ずうずうしくお世話になります。

### 演劇 KOMEKAMIクラッシューズ!



先月、7/21(金)～23(日)旗揚げ公演をしたばかりの劇団です。ご来場頂いた皆様、誠にありがとうございました。次回は2007年1月頃の公演を予定しています。よりおもしろいものを皆様にご覧頂けるよう一同頑張っていきたいと思えます。又、メンバーの募集もしています。満18歳以上でアクテノン、中村青年の家にて稽古可能な方、未経験者の方も大歓迎。やる気重視です。興味がある方はまずご連絡下さい。お気軽にどうぞ。

①2004年 ②4名  
③れんパニ! /G/pit('06)  
④小崎康史  
☎(080)3629-8607(KOMEKAMI)  
komekami\_c@hotmail.com

アクテノンに一言 夜遅くまで利用でき、冷暖房も完備。いつも稽古しやすい環境をありがとうございます。アクテノンでの稽古はより一層やる気が出ます。これからもよろしくお願ひします。

## 公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

てんぷくプロ第33弾 『おばあちゃんには手を出すな』 ～ 紅白殺人合戦	① G/pit (地下鉄伏見駅6番出口より徒歩7分) ② 9月28日(木) 7:30、29日(金) 7:30、30日(土) 3:00 7:30、10月1日(日) 2:00 ③ 2,700円(当日3,000円) 中高生 1,800円(劇団予約のみ) ④ ☎080-3618-5632 E-mail:tenpuku26@yahoo.co.jp 北村想が25年前に書いた世紀末的コメディをてんぷくプロが大再演。見のがすな!!
葵SORAプロデュース 『快樂原理』	① ナビプロト (地下鉄鶴舞線 原駅1番出口徒歩8分) ② 10月7日(土) 3:00 7:00、8日(日) 1:00 5:00、9日(月・祝) 11:00 ③ 1,500円(当日1,800円) ④ ☎090-1741-0254 http://kairakugenri.hp.infoseek.co.jp 5年前劇団そうめんかぼちゃの会で上演した作品を瀬口かしず氏が脚色・演出します。
遠山事務所プロデュース公演 『恩讐の彼方に』	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 10月19日(木) 6:30、20日(金) 6:30、21日(土) 12:00 4:00、22日(日) 12:00 4:00 ③ 一般 3,500円 高校生以下 2,000円 ④ ☎090-4406-9906 菊池寛の名作「恩讐の彼方に」を島田たろうが脚色 青の洞門のできるまでを描く。
演劇襲団海賊船Ⅱ 『幕末土佐っぽGraffiti』	① 名古屋市千種文化小劇場 ② 11月3日(金) 7:00、4日(土) 2:00 7:00、5日(日) 1:00 5:00 ③ 1,800円(当日2,000円) ④ ☎090-8545-4899 (かすや) 幕末を駆け抜けた熱き男達の青春群像! 乞うご期待!!



編集発行/平成18年8月25日(年4回)  
名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)  
〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47  
TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は再生紙(古紙100%白化度80%)を使用しています。

